

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	姉妹都市・友好都市親善事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	02	01	01	02	51
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）			主管課	秘書広報課				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課長	飯塚 修司				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	姉妹都市・友好都市	意図	親善経費を明確にして、友好関係の維持・発展に努める
事業内容	姉妹都市・友好都市との親善に関する経費を明確化し、今後の友好関係の維持・発展に繋げていくもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度まで経常経費として計上していた姉妹都市・友好都市との交流経費を、平成24年度から政策経費として事業化することで明確にして、親善そのものの検証が可能となった。引き続き、友好関係の維持・発展に努めていく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度は市民まつり前夜祭をはじめとして昭和52年に姉妹都市盟約を結んだ相馬市他、信濃町、能登町、また友好都市である北上市との定期的な交流を行い友好関係の発展を図った。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	827,400	808,300	800,527				
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)	827,400	808,300	800,527				
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	姉妹都市・友好都市との各部局での親善事業を維持しより効果を高める。	③取り組みの課題	姉妹都市・友好都市に対する市民の理解を深め、経済の活性化等、相乗効果を図る。
②今年度(H26)に実施した取り組み	各姉妹都市・友好都市の行事等に特別職が参加した。流山市民まつりの前夜祭に各市町の関係者を招待した。	④今後の改善計画	行政間だけでなく、市民間、自治会間での交流を活性化させるよう誘導していく。